



港の町 散策絵図

利長くん 家持くん

北前船の寄港地 古い家並みが残る 万葉集の歌人 大伴家持が愛した 絶景の景勝地

伏木 吉久 二上山 雨晴



おおとものやかもち 大伴家持 (718年ころ～785年)

今から約1280年前、当時越中の国府は高岡市伏木の高台、今の勝興寺あたりにあったといわれています。そこに新たな国守(今の県知事)として遠く奈良の都からやってきたのが、後に日本最古の和歌集「万葉集」の編者ともされる29歳の若き大伴家持です。

富山湾や雪で白く輝く立山連峰など、越中の新鮮な自然に魅了された家持は、この地で独創的な境地を開き、滞在した5年の間に223首の歌を詠み、それが「万葉集」に収められています。

高岡市では、施設名やイベントに、さらに、路面電車、町名、学校名など、「万葉」と名のつくものが随所にあります。「万葉集」の歌を詠んだ歌碑も多くあり、その数は100基を越えます。

とやまけんたかおか し 富山県高岡市 (人口約17万人)

古くから越中の政治、文化、経済の中心地として栄えた高岡市は、「万葉集」の編者ともされる大伴家持が、かつて越中国守として現在の高岡市伏木の地に住み、数々の秀歌を詠んだ万葉ゆかりの地です。高岡城が築かれて以来400年の歴史が息づく高岡には、国宝や重要文化財、情緒ある町並みなど、格調の高い歴史的遺産が数多く残されています。

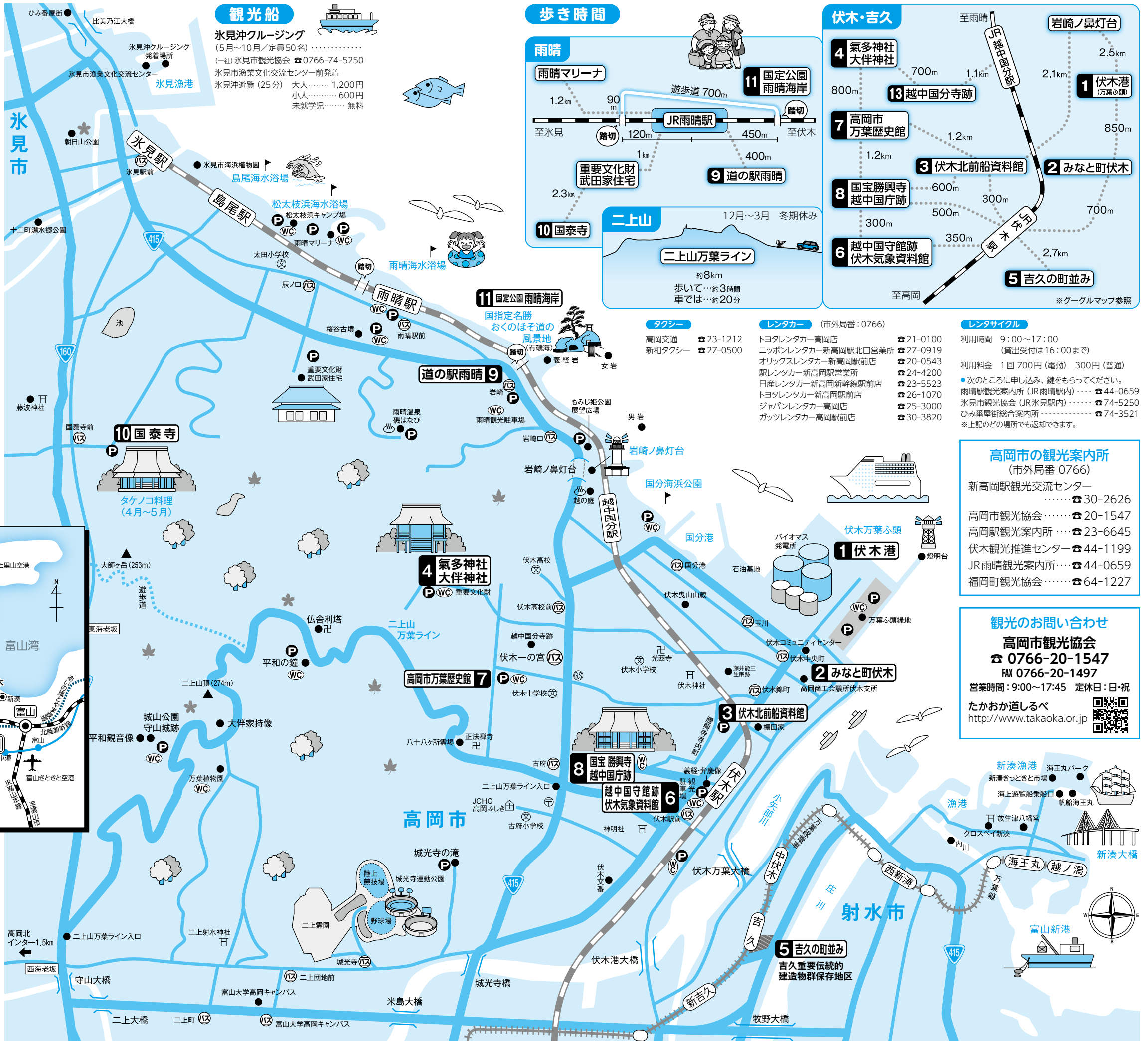
海越しに雄大な立山連峰を間近に望むという素晴らしい景観は、高岡市が世界に誇る絶景です。

【日本遺産ストーリー】

2017年4月、文化庁から日本遺産の認定を受けた物語「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に、伏木エリアの旧秋元家住宅(高岡市伏木北前船資料館)や吉久重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする9つの文化財が追加認定されました。

伏木には江戸から大正にかけて最盛期には大小30軒ほどの廻船問屋があり、北前船の寄港地として栄えました。越中各地から集められた米の他、鋳物、鉄製品を各地に運び、加賀藩の商業発展に大いに寄与しました。

また、幕末の頃の伏木港は年間2,000隻を超える多国船で賑わい、港の周辺にはその後多くの企業が立地しました。現在は、13万トン級の客船が寄港する日本海側でも最大級の国際貿易港となった原動力は、北前船によるところが大きいのです。



伏木・吉久の見どころ

① 伏木港 (国際拠点港湾) (日本海側拠点港)

古くから要港として栄えた伏木港は、江戸時代には北前船で賑わい、その後は国際貿易港として発展しました。近年は国内外の貨物船に加えて、大型豪華客船が停泊するなど、港は一段と華やかです。

万葉ふ頭に復元された日本海側最初の西洋式灯台、燈明台が港に映えます。

② みなと町 伏木

みなと町伏木では、北前船で賑わった往時の繁栄ぶりを示す、町家や洋風建築を見ることが出来ます。

高岡商工会議所伏木支所の建物は、1910年(明治43年)に建てられた元銀行です。土蔵造りででありながら、窓やタイル等に洋風のデザインを取り入れています。

【商工会議所】 ☎0766-4410457
【内部観覧】 無料
【休館日】 土・日・祝・お盆・年末年始



国登録有形文化財

③ 伏木北前船資料館 (高岡市指定文化財)

伏木の高台に建つ北前船資料館は、江戸時代から廻船問屋を営んでいた旧秋元家の邸宅です。

大きな家の部屋数は十六室。土蔵は江戸時代後期に建てられたものです。

館内には、北前船の航海用具や船主の生活用品、歴史資料などが展示されており、港への船の出入りを見張った望楼に登って見学することも出来ます。

【資料館】 ☎0766-4413999
【観覧料】 大人300円、小・中学生無料
【休館日】 年末年始・毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は翌平日)



北前船資料館の望楼

伏木気象資料館

④ 気多神社 (国指定重要文化財) 大伴神社

越中一宮気多神社は、平安時代の延喜式神名帳に名を連ねる古社で、中国唯一の名神大社とする資料もあります。

国重要文化財の本殿は四百五十年程前の再建といわれ、室町時代の建築様式の特徴がよく残された風格ある建物です。

境内に、万葉集の歌人大伴家持を顕彰した大伴神社が建っています。

⑤ 吉久の町並み (国選定重要伝統的建造物群保存地区)

今から三百五十年程前、吉久に加賀藩直営の米蔵がつくられました。当時砺波・射水平野は加賀藩最大の米どころであり、年貢米は庄川と小矢部川の水運と馬によって米蔵に運び込まれました。一旦米蔵に集積された米は、近くの伏木港から江戸や大阪に送られ、吉久は高岡の重要な米の集散地として大いに栄えました。

明治に入り米蔵は廃止されましたが、米の流通に精通した吉久は、そのあとも経済力を持った米商人の町として栄えました。

その吉久には、江戸時代末から昭和初期にかけて建てられた家が多数残っています。四〇棟余りの干本格子の町並みは、繁栄した当時の面影を今に伝える貴重な文化遺産です。



雨晴の見どころ



世界に誇る景観 国定公園 雨晴海岸
義経岩 (右端の松の木の下)

世界で最も美しい湾クラブ加盟!!

立山に降り置ける雪は、夏のいま見ても見あきることがない。
常夏に見れども飽かず 神からならし
大伴家持
神の山だからにかなう。

⑥ 越中国守館跡 高岡市伏木気象資料館 (国登録有形文化財)

勝興寺の門前近く現在気象資料館が建っている台地は、かつては越中国守大伴家持が住んでいた館(官舎)のあったところといわれています。

1887年(明治10年)、伏木に日本初の私立測候所が設立されました。現在の建物は、1909年(明治42年)に建てられた貴重な洋風木造建築、旧伏木測候所です。

【気象資料館】 ☎0766-4416905
【観覧料】 大人300円、小・中学生無料
【休館日】 年末・年始・毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は翌平日)

⑦ 高岡市万葉歴史館

高岡市は奈良、飛鳥と並ぶ万葉故地です。それは、「万葉集」の代表的歌人として知られる大伴家持が、かつて越中国守として伏木の地に五年間在任し、多くの優れた歌を残したことに由来します。

その家持が政務を執っていた国庁跡にほど近い高台に、全国初の「万葉集」に関する専門施設、高岡市万葉歴史館が建っています。

万葉歴史館では、「万葉学習エリア」や、大伴家持が越中で見た世界を再現したプロジェクト「マッピング」で、子供から大人まで、楽しみながら「万葉集」や越中万葉を学ぶことができます。

【歴史館】 ☎0766-4415511
【観覧料】 大人300円、中学生以下無料
【休館日】 年末年始・毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は翌平日)



「万葉集」をテーマにした専門施設 万葉歴史館

⑩ 国泰寺

山の静寂に包まれた国泰寺は、七百年前に開山した臨済宗国泰寺派の大本山であり、座禅の修行道場として知られています。明治の初め、全国に広がった廃仏毀釈の嵐は国泰寺にも及び、荒れ寺となっていました。窮状を直に見た山岡鉄舟は、再建を願って自らの揮毫(書)で広く浄財を求め、寺は立派に復興しました。

鉄舟は幕末には、剣・禅・書の達人として知られ、後に十年にわたり明治天皇の教育係として仕え、生涯を日本文化の発揚に尽くした人です。本堂には、鉄舟の偉業をしのぶ位牌と直筆の屏風が置かれています。

天皇殿や三重の塔、日本一の大きさという庭園石は見ごたえがあります。六月の開山忌は、虚無僧の尺八と読経の大合奏が山々にこだまします。

名物の竹の子料理の旬の時期は、山門前の料理店に多くの人が訪れます。
【国泰寺】 ☎0766-4410610
【観覧】 無料 見学自由

⑨ 道の駅 雨晴

雨晴海岸の目の前にある道の駅「雨晴」では、地元産の食材を使ったメニューを提供するカフェ、地域の特産品や高岡のクラフト商品の販売に加え、1階には高岡市観光情報の紹介コーナー、2階展望デッキには、400年を超える歴史を有する高岡銅器で作られた「りん鐘」と世界で最も美しい湾クラブのモニメントが設置されています。



⑪ 国定公園 雨晴海岸 (能登半島国定公園)

雨晴海岸は、波が洗う奇岩と白砂青松が続く景勝の地です。とりわけ、冬晴れの日に見られる、海上にそそり立つ立山連峰の雄大な眺めは、比類のない絶景として讃えられています。

海越しに三千m級の白い山々を間近に望むという素晴らしい景観は、世界でもこの海岸だけのものです。

雨晴という名前の由来は、かつて義経主従が奥州に落ち延びる途中にこの海岸でにわか雨にあい、弁慶が持ち上げた岩陰で雨宿りをしたという「義経雨はらしの岩」の伝説からきています。

雨晴海岸は、万葉集の歌人大伴家持が訪れるたびに絶賛したところであり、その時の情景を詠んだ歌の数々が、万葉集に収められています。古来から例えようのない絶景と讃えられ、また、悲劇的な義経伝説が今に伝わる話題の多い雨晴海岸です。

「国指定名勝おくの細道風景地」指定。
「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟。
「雨晴海岸のライブカメラ」
ホームページ「雨晴観光協会」で検索